

第2回 羽ばたく女性研究者賞(マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞) 応募要項

2022年9月30日

国立研究開発法人科学技術振興機構
科学技術イノベーション人材育成部ダイバーシティ推進室・国際部

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、日本の女性研究者のより一層の活躍推進に貢献することを目的に、駐日ポーランド共和国大使館と共催し、国際的に活躍が期待される若手女性研究者を表彰する「羽ばたく女性研究者賞(マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞)」を2021年度に創設しました。

JSTでは、科学技術イノベーションの創出に向けて女性研究者の活躍を推進しておりますが、特に20歳台後半から30歳台前半の時期は研究者としての活躍が最も期待されると同時にライフイベントが想定される時期と重なることから、一層の支援が求められます。そこで、30歳台前半での功績が認められ、後にノーベル賞を受賞した偉大な女性研究者マリア・スクウォドフスカ＝キュリー^{注)}の名を冠した表彰制度を創設し、世界に羽ばたく若手女性研究者を奨励いたします。

第2回となる今回は、2022年9月30日から同年12月12日まで応募を受け付け、選考委員会による書類審査及び面接審査を経て受賞者を決定します。受賞者の発表および授賞式は、2023年5月を予定しております。大学や研究所の基礎研究部門だけでなく、開発プロジェクトをはじめとするエンジニアリング、製品開発、及び多人数が関わった研究開発など、広い分野からの応募を歓迎いたします。

注)マリア・スクウォドフスカ＝キュリー：31歳でポロニウム、32歳でラジウムを発見し、女性で初めてノーベル賞を受賞、且つこれまでに唯一2つの異なる分野「化学賞」「物理学賞」を受賞した、ポーランドが生んだ世界的研究者

1. 主催、協賛、後援

- 主催 : 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)、駐日ポーランド共和国大使館
- 協賛 : 日本電子株式会社(JEOL)、ポーランド科学アカデミー (Polish Academy of Sciences)
- 後援 : 文部科学省、ポーランド教育科学省

2. 表彰までの流れ

- 公募 : 2022年9月30日～12月12日 日本時間正午まで ウェブサイトにて募集します。
- 選考 : 2022年12月下旬～2023年3月上旬 有識者による選考をおこないます。
- 授賞式 : 2023年5月(予定)

3. 応募

(1) 方法

羽ばたく女性研究者賞(マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞)のホームページで公表します。

ホームページURL: <https://www.jst.go.jp/diversity/researcher/mscaward/>

(2) 要件

- 自薦・他薦とも可能。他薦の場合は、本人の了承が必要
- 2023年4月1日時点で博士学位取得後5年程度まで※の女性研究者(ポスドクを含む。)、大学院生(博士後期課程)、及びこれらに相当する者
 ※ライフイベント等による研究活動休止期間を勘案する
- 科学技術に関連する幅広い研究分野を対象
- 国籍:日本、 居所:不問

(3) 応募期間

2022年9月30日(金)～12月12日(月) 日本時間正午まで

4. 表彰内容

- 最優秀賞(1名)
 - 賞金:100万円
 - 副賞:ポーランドへの渡航・研究機関等を訪問するための滞在費を支弁
 (滞在は2週間程度。渡航は2023年秋を想定)
- 奨励賞(2名)
 - 賞金:各50万円

5. 選考

(1) 選考方法

選考は、外部有識者からなる選考委員会により、選考の観点に基づき実施します。

1. 書類選考

※応募フォームに記載の他、2通の推薦書添付を必須とします。
 海外からの推薦書も歓迎します。

2. 面接

※書類選考通過者のみ、面接の日程について連絡します。
 ※面接はオンラインにて実施します。
 ※面接は英語で実施します。

(2) 選考の観点

- これまでの実績及びこれからの研究者としての将来性(伸びしろ)、今後の期待を評価
- 海外(欧州等)との共同研究・国際協力の意欲を評価
- マリア・スクウォドフスカ=キュリーの偉業を踏まえ、人類への貢献に向けた志についても考慮

(3) 選考委員(敬称略、委員長を除き五十音順)

岩崎 明子(委員長)	イェール大学 免疫学 冠教授
	ハワードヒューズ医学研究所 正研究員
岩尾 エマ はるか	Google Cloud デベロッパーアドボケイト
大栗 博司	東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 機構長
	カリフォルニア工科大学フレッド・カブリ冠教授、理論物理学研究所所長

小谷 元子	東北大学理事・副学長(研究担当)、理学研究科数学専攻 教授
染谷 隆夫	東京大学大学院工学系研究科長・教授 理化学研究所 主任研究員・チームリーダー
沼田 圭司	京都大学大学院工学研究科 教授 理化学研究所環境資源科学研究センター チームリーダー
原田 尚美	東京大学 大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター 教授
日比谷 潤子	学校法人聖心女子学院 常務理事 国際基督教大学 名誉教授
Tomasz M. Rutkowski	理化学研究所 革新知能統合研究センター 研究員 東京大学 リサーチフェロー

(4) 利益相反

JSTの規定に基づき、以下の利益相反マネジメントを実施します。

- 選考に関わる者の利益相反マネジメントについて
公正で透明な評価を行う観点から、応募者に関して、下記に示す利害関係者は選考に加わりません。
 - a. 応募者と親族関係にある者
 - b. 応募者と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の学科、専攻等又は同一の企業に所属している者
 - c. 応募者と緊密な共同研究を行う者。(例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは応募者の研究課題の中での共同研究者等をいい、応募者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者)
 - d. 応募者と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者
 - e. その他JSTが利害関係者と判断した者

6. 受賞者発表および授賞式、広報

- 授賞式は、2023年5月を予定しています。受賞者は原則として授賞式への出席をお願いします。授賞式出席のための旅費等詳細については別途受賞者にご連絡します。
- 受賞者および受賞内容、授賞式については、羽ばたく女性研究者賞(マリア・スクウォッドフスカ＝キュリー賞)のホームページなどで発表します。
- 受賞者に対し、授賞式におけるセッション等の他、本表彰の広報活動、各種行事等へのご協力をお願いすることがあります。広報等における活動内容の公開については、受賞者等関係者と事前協議を行います。

7. 個人情報の取扱いについて

応募に関連して提供された個人情報については、個人情報の保護に関する法律及び関係法令を遵守し、下記各項目の目的のみに利用します。(ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。)

- 選考及び選考に関する事務連絡、通知等に利用します。事務局またはJSTと機密保持契約を締結した委託業者から連絡をさせていただくことがあります。
- 受賞者については、応募内容のうち、基本的な情報(氏名・所属・略歴・主な研究等)を公表させて

いただきます。また、授賞式等のご案内など必要な連絡用として利用します。

- JSTが開催するセミナー、シンポジウム等の案内等の連絡に利用します。

本表彰に関わる業務委託においては、JSTと機密保持契約を締結します。業務委託以外での第三者への情報提供や、許可なく開示することはいたしません。応募に関連して提供された個人情報は、下記問い合わせ先(事務局)で管理します。

8. その他

- 送信された応募内容・添付書類等は返却いたしませんのでご了承ください。
- 選考過程及び詳細に関するお問い合わせにはお答えしません。
- 受賞にあたり反社会的勢力排除に関する誓約書を提出いただきます。

問い合わせ先(事務局)

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

科学技術イノベーション人材育成部ダイバーシティ推進室

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

担当:長田(ナガタ)、中島(ナカシマ)、松本(マツモト)

E-mail: diversity[at]jst.go.jp

以上